

第13回 論文賞に応募しよう!

論文賞

2012

日本数学コンクール

日本ジュニア数学コンクール

数学コンクール 論文賞(2012)募集要項

21世紀の展望を開く若者の才能を発掘し、育成していくために、1990年から日本数学コンクールを、1997年からは併せて日本ジュニア数学コンクールを開催し、2000年から日本数学コンクール論文賞が設けられました。

数学は
思考の冒険
です!

★ 自由にゆったり考える

論文はテーマの発表から締め切りまで約3ヶ月、ゆったりと自由に考え、さらに、図書館やインターネットなどを利用して調べた特徴ある論文を期待します。

★ 楽しい数学の発見

学校教育、教科書にとらわれず、数学の本質に根ざした、考えて楽しいテーマを提供します。

★ 多彩な才能の評価

緻密な論証力、正確な計算力だけでなく、独自性のあるすばらしい発想や問題提起も高く評価します。

★ 楽しい数学の発見

入選論文のうち特に優秀なものは、数学コンクールフォローアップセミナーである数理ウェブで紹介されます。

一人でも多くの、数学に興味のあるみなさんの参加を期待します。

名古屋大学 日本数学コンクール委員会

デザイン:名古屋大学教育学部附属高等学校 3年 齋藤 沙都

後援

愛知県教育委員会、岐阜県教育委員会、三重県教育委員会、大阪府教育委員会、名古屋市教育局、
大阪市教育局、和歌山県橋本市教育委員会、愛知県高等学校数学研究会、
岐阜県高等学校数学教育研究会、三重県高等学校数学教育研究会、大阪高等学校数学教育会、
中日新聞社、東海テレビ放送株式会社、テレビ愛知株式会社

論文募集要項

1

応募資格

- ①日本数学コンクール論文賞
高校生以上(一般の方も可)。共著論文も歓迎します。
- ②日本ジュニア数学コンクール論文賞
中学生以下。共著論文も歓迎します。ただし、共著論文の場合も全員が中学生以下であることを要します。

2

論文テーマ

次の3つのテーマからどれか1つを選んで、論文にまとめて下さい。(複数のテーマについての応募も可)

- | | | |
|--|--|---|
| <p>★ テーマ1.</p> <p>★ 100年に一回の割合で</p> <p>★ 起こる危機と一万年に</p> <p>★ 100回の割合で起こる</p> <p>★ 危機とどちらが被害が</p> <p>★ 大きいでしょうか?</p> | <p>★ テーマ2.</p> <p>★ 球面S上の一点に対し、そこからもっとも</p> <p>★ 遠いS上の点(最遠点)は一つあります。</p> <p>★ 一点が北極なら最遠点は南極です。</p> <p>★ S上の2点に対しては、最遠点はいくつ</p> <p>★ でしょう。</p> <p>★ 3点以上だとどうでしょうか?</p> | <p>★ テーマ3.</p> <p>★ 「自由課題」</p> <p>★ 自分自身、または</p> <p>★ グループで取り組んだ、</p> <p>★ 数学に関する内容を</p> <p>★ 論文にまとめて下さい。</p> |
|--|--|---|

3

応募方法

論文はA4版たて置きとし、文字列の場合横書きで(1行に40字程度)20行位としてください。数式と文章と分け、行を改めて書いてください。なお、必要に応じて図を入れても構いません。

◎論文送付先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学社会連携課内 日本数学コンクール係

☆応募者の連絡先を明記する事[住所、氏名(フリガナ)、学校名、学年、電話、E-mail]

☆ご応募いただいた論文はご返却できません。

4

締め切り

平成24年9月7日(金)必着

5

審査方法

日本数学コンクール論文賞、日本ジュニア数学コンクール論文賞ともに、応募論文それぞれに査読者が査読結果をレポートにまとめ、審査員の合議により入選論文を決定します。

◎審査会

日本数学コンクール実行委員会

6

表彰式

表彰は数学コンクール表彰式当日に行い、最優秀論文に対しては日本数学コンクール論文賞、日本ジュニア数学コンクール論文賞ともに数学コンクール大賞と同等の記念品および賞品を贈呈します。優秀論文に対する表彰も数学コンクールに準じます。

※表彰式は平成24年11月3日(土・祝)に名古屋大学シンポジオン会議室で行います。

7

論文賞に関する問い合わせ先

名古屋大学社会連携課内 日本数学コンクール係

電話:052-788-6144 時間:9:00~17:00(土・日・祝日除く)

「名古屋大学 日本数学コンクール」のホームページ

<http://www.sangaku.nagoya-u.ac.jp/math-con/>